

平成24年改定に向けたDPC(診断群分類)の見直し作業について(案)

1. 平成24年改定に向けたDPC見直し作業の概要

平成24年診療報酬改定に向けたDPCの見直し作業を実施(平成22年5月26日中医協総会にて合意)するため、臨床の専門家により構成されるMDC(Major Diagnostic Category: 主要診断群)毎作業班において、DPCの見直し作業等を行う。

(1) DPC見直しの基本的な考え方

従来より、以下の4項目の指針に基づき診断群分類の妥当性の検証及び見直し案の作成を実施しており、平成24年改定も同様の方針で臨んではどうか。

- ① 医療資源同等性が担保されている(医療資源の投入量が適切にグルーピングされている(在院日数、包括範囲点数))。
- ② 臨床的類似性が担保されている(臨床的な観点から問題・違和感が少ない)。
- ③ 分類は可能な限り簡素であり、分類のコーディングに際して、臨床現場の負担が少ない。
- ④ その他制度運用上の問題が生じない。

(2) 様式1の見直し原案作成

診断群分類の精緻化に際しては、様式1の情報が重要であることから、平成24年改定後の様式1の項目見直し原案について、MDC毎作業班において検討し、とりまとめてはどうか(原案を元にDPC評価分科会において議論)。

2. 作業スケジュール(案)

4月下旬	調査票の配布
7月上旬	調査票の提出締切
8~10月	MDC毎作業班会議(各班順次実施)
10月下旬	様式1見直し原案をDPC評価分科会へ報告
11月下旬	平成24年度DPC見直し案作成
12月	DPC評価分科会へ報告